

かめやま 社協だより



声を届けて25年!! 厚生労働大臣表彰を受賞



亀山朗読奉仕会
おか ますよ
岡 益代さん
(東町)

特集 福祉教育の取組み





新年のご挨拶

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本会の活動に対しまして、深いご理解と格別のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、私たちは、新型コロナウイルスの感染拡大というこれまでに経験したことのない事態に直面しており、このことは、生活困窮に陥ってしまう方や居場所をなくしてしまう方が増加するなど、人々の暮らしに大きな影響を与えています。今こそ、これまで私たちが築いてきた地域の絆を絶やさないよう、心を新たにしています。ひとり一人が相手を思いやり、支え合っていくことが大切だと思います。

本会としましては、本年度が第2次地域福祉活動計画の前期計画が最終年度となっており、現在後期計画の策定に向けて取り組んでいます。後期計画は亀山市の地域福祉をよ

り一層推進していくため、市民の皆様やまちづくり協議会をはじめ福祉関係団体等からいただいた貴重なご意見をもとに、市と社会福祉協議会が連携し、一体的に地域福祉計画を策定することとしております。

本年も役職員一体となって、市民の皆様の期待と信頼に応えられるよう本会の法人使命・経営理念・組織運営方針に基づき、地域福祉を推進する中核的な団体として、地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進により一層努めてまいります。

市民の皆様には、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人
亀山市社会福祉協議会
会長 榎谷 英一



第17回亀山市社会福祉大会を開催しました

令和3年11月24日(水)、亀山市文化会館内中央コミュニティセンターにおいて、市と社会福祉協議会の共催で開催されました。今年度も昨年度同様に新型コロナウイルス感染症を考慮し、表彰式のための開催となり、福祉関係団体、民生委員・児童委員、福祉委員、ボランティア、自治会など地域福祉に貢献されている27名2団体1社12自治会の表彰を行いました。

被表彰者・団体 (敬称略・順不同)

亀山市長表彰

- ◆社会福祉施設等功労者 3名
佐野 和代 若林 あゆみ
中里 愛
- ◆ボランティア功労者 1名
三谷 さち子

亀山市社会福祉協議会 会長表彰

- ◆民生委員児童委員功労者 1名
國分 誠
- ◆社会福祉施設・団体等功労者 4名
小森 喜美子 宮崎 信美
加藤 舞美 栗本 小巻
- ◆福祉委員功労者 4名
服部 清子 相馬 まゆみ
富山 さちえ 水谷 和則
- ◆地域福祉活動功労者 2名
長尾 昭一 森 淳之祐
- ◆ボランティア功労者 9名
伊藤 久子 西尾 裕子
落合成子 木崎 けい子
原 幸子 渡邊 重和
富尾 恵子 丸橋 叶子
仲野 美繪子

亀山市社会福祉協議会 会長感謝

- ◆社会福祉事業寄附 3名2団体1社
株式会社 スズカ
櫻井 潤一
(故) 佐々木 宣明
古河電気工業労働組合三重支部青年委員会
三重県遊技業協同組合亀山支部
宮坂 利樹
- ◆社会福祉協助者 12自治会
田村町名越自治会 富士ハイツ自治会
山下町自治会 野村団地第二自治会
木崎第二自治会 石橋町自治会
田村町東野自治会 川合町東自治会
本町4の5自治会 本町4の6自治会
野村住宅自治会 中町6自治会



亀山市には、私たちの生活の身近なところで活躍している、福祉に関わる方々がたくさんいらっしゃいます。「社協だより」では、それらの団体や活動について紹介します。

厚生労働大臣表彰受賞

声を届けて
25年!

亀山朗読奉仕会

おか ます よ
岡 益代さん(79)



亀山朗読奉仕会の岡 益代さんがボランティア活動を積極的に行い地域の福祉向上に貢献されたことをたたえるボランティア功労の厚生労働大臣表彰を受賞されました。

亀山朗読奉仕会は、視覚障がい者の方や高齢者の方に対して、広報かめやまや本の「文字」を「声」に換えて届ける音訳活動をしています。25年にわたって精力的に活動をされている岡さんの活動が評価され、今回の受賞となりました。亀山朗読奉仕会では4人目の受賞となりました。

Q 活動を始めたきっかけはなんですか？

A 友人から音訳ボランティアをしてみないかと誘われました。元々本を読むのが好きで、本に関して何か人の役に立つことができるなと思い活動を始めました。また東京出身で標準語を話すことから、音訳に大切なアクセントにも活かせると聞いたのもきっかけです。

Q 活動を長く続けるコツはありますか？

A 好きなことがボランティアになり、それが誰かの役に立っていることが活動を続けられるコツだと思います。また、亀

山朗読奉仕会のメンバーがとてもいい雰囲気ので活動しているので、月1回の勉強会や集まりが楽しくて気づいたら長く活動できていました。あと、家族もボランティア活動に理解と支援してくれていることが大きいです。

Q 活動を通じての一番の思い出はなんですか？

A 県の検定に合格して、初めて全国版の音訳図書に本を納めた事です。一冊の本を何度も録音、修正を繰り返してやっと作上げた時の達成感と嬉しさが一番の思い出です。

Q 「声」を届ける上で工夫していることはなんですか？

A 基本的に忠実にリスナーさんにより聞きやすい声を届けられるように、滑舌をよくするために、毎朝口の体操や早口言葉などで基礎を繰り返し練習をしています。

Q 最後にひとこと。

A これからボランティアを始めたい方や興味がある方は、長い人生1度は挑戦してみたいです。自分の世界が広がるので、まずはボランティアの講座にぜひ参加してみてください。



インタビュー
あとしき

「好きなことを続けてきて、立派な賞をいただけてうれしいです。」「25年続けてこれたのは朗読ボランティアの活動が自分に合っていたこと、メンバーに恵まれたからです。」と嬉しそうにお話しただく姿から楽しんで活動されているんだと伝わるインタビューでした。穏やかであたたかな声で届けられる情報をたくさんの人に聞いていただきたいです。この度は受賞おめでとうございます!!

亀山朗読奉仕会では一緒に活動するメンバーを募集しています。裏表紙に講座の案内を掲載していますので、ぜひチェックしてみてください。

特集!

福祉教育の取組み

～モデル校(園)の紹介～



関小学校の取組み

5年生 ～まわりのふくしを見つけよう～

6年生で学習する関宿探検に向けて、文化や歴史を学ぶ中で、“ふくし”について考えてもらえるよう、「まわりのふくしをみつけよう」と題し授業や体験で事前学習をしました。

10月15日

高齢者の方や障がいのある方がどのような生活を送っているのか、視覚、身体疑似体験、車いす体験を通じて勉強しました。体験を通じて、相手の立場になって気づくことや思いやることの大切さを学びました。



視覚疑似体験

12月3日

身近にどんなユニバーサルデザインやバリアフリーがあるのかについて勉強しました。校内にある工夫を見つける校内探検では、「こんなところに点字がついてるんだね」「スライドドアは車いすの方でも開けやすいね」と、身近な場所にある工夫に気づけました。



校内探検

体験をして今まで知らなかった、障がいのある方や高齢者の方のことがわかりました。困っている人がいたら声をかけようと思います。



藤本 紫妃さん

藤枝 風さん

校内探検をして、まわりの工夫に気づきました。来年の関宿探検にも活かしたいです。



班での話し合い

4年生 ～認知症キッズサポーター養成講座～

10月29日

認知症キッズサポーター養成講座では、DVDの視聴やクイズを交えて認知症の勉強をしました。この学習を通して、認知症の人だけでなく、家族や友達にも優しく声をかけて、相手を思いやる気持ちの大切さを学びました。授業の最後には、サポーターの証として、オレンジリングと認知症キッズサポーター認定書を受け取りました。



DVD(アニメ)で学習



サポーターの証! オレンジリング

亀山社協では地域と協働しながら子どもたちに“ふくしのこころ”を育む福祉教育を推進しています。
市内の保育所、幼稚園、認定こども園から1園、小・中学校から1校、高等学校から1校をモデル校(園)として指定し、学校と協働して年間でプログラムを作成し、授業を行うなどさらなる福祉教育の充実を図っています。

6年生 ～民生委員・児童委員について～

12月6日

関地区の民生委員・児童委員さん10名から普段の活動内容や役割について紙芝居を用いて教えてもらいました。社会の授業で民生委員・児童委員について学習しており、その時に感じたことや疑問に思ったことにも答えてもらい、より理解を深めることができました。

「民生委員さんが子どもから高齢者まで地域の人を見守ってくれて安心しました。」「民生委員さんと会ったらあいさつしようと思います。」と、民生委員・児童委員さんを身近に感じることができる機会になりました。



亀山市オリジナル紙芝居『やまだのじいちゃんはいんせいマン』で活動紹介

昼生保育園の取組み



昼生保育園では地域にある川や山、畑など自然の中で遊びながら学んだり、地域の方との交流をもちながらたくさんの発見や体験に取り組んでいます。



園近くの中ノ川で高田短期大学の学生さんと一緒に川遊びをしました!!



地域の方に協力してもらって、育てたさつまいもを収穫して、園庭で焼き芋をしました!!

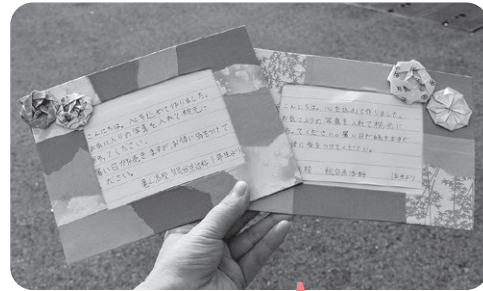
亀山高等学校の取組み



亀山高等学校では、高齢者施設への訪問やサロン活動、街頭募金など様々な福祉活動をしています。昨年度から新型コロナウイルス感染症の影響で交流活動が行えない中で、自分たちで考え、気持ちを込めた手作り作品を贈りました。



高齢者の方に喜んでもらえる物をと、ティッシュケースを作りました。



養護老人ホーム 清和の里の利用者さんに手作りの写真立てを贈りました。

●ボランティア養成講座を開催します!

◇朗読ボランティア養成講座 ～あなたの声が光になる 届けた声が世界を広げる～

と き 令和4年1月21日(金)、28日(金)
2月4日(金)、18日(金)、25日(金)

全5日間 午後1時30分～3時30分

ところ 亀山市社会福祉センター2階 会議室
亀山市若山町7-1

内 容 第1回 朗読ボランティアとは
第2回 人に伝える読み方とは
第3回 正しいアクセントで読んでみましょう
第4回 文章を読んでみましょう
第5回 広報かめやまを読んでみましょう

対象者 ボランティアを始めたい方
朗読に関心のある方

申込期限 令和4年1月17日(月)

申込/問合せ 地域福祉係 TEL 82-7985

参加費は無料です。
ぜひお申し込み
ください!!



●不要な羽毛製品を回収しています

自宅に使っていない羽毛布団が眠っていませんか?

不要になった羽毛製品がありましたら社会福祉協議会までご連絡ください。

回収された羽毛製品は、赤い羽根共同募金として地域の福祉活動に役立てられます。(地域福祉係 TEL 82-7985)



羽毛製品が募金になるしくみ。

ダウン率
50%以上

穴が
あいている

汚れている

注意!
綿布団は
回収できません。

●令和3年度 赤い羽根共同募金 実績報告

7,088,185円(令和3年12月1日現在)

皆様には、本年度も温かなご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。



善意の寄付 (令和3年9月1日～令和3年12月30日)

木下 隆治 様

お寄せいただきましたご芳志は、社会福祉事業のため有効活用させていただきます。厚くお礼申し上げます。

亀山市の福祉指数 (令和3年12月1日現在)

市総人口 49,473人 65歳以上の人口 13,413人(男性6,004人 女性7,409人)

世帯数 21,789世帯 18歳以下の人口 8,697人(男性4,517人 女性4,180人)

高齢化率 27.1%

印刷

株式会社 一誠堂

リサイクル適性(A)

再生紙を使用しています。

発行 社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会

〒519-0164 亀山市羽若町545番地 市総合保健福祉センター「あいあい」内

☎ 0595-82-7985 FAX 0595-83-1578

公式HP <http://kameyama-shakyo.or.jp>

facebook <http://facebook.com/kameyama.shakyo>

\facebookにて最新情報お届け中!!



亀山社協

検索

“いいね!” お待ちしています♪